

## 2 歩行者が安全に通行できる環境づくり

歩行者が安全に通行できる環境づくりの例として、以下のような道路インフラの整備がなされています。

### ●歩車分離式信号の積極導入

2025年の1月に警察庁より歩車分離式信号の導入検討条件を緩和するとの通達がなされました。こどもをはじめとする歩行者の巻き込み事故の防止に効果があるとされ、通学路付近の交差点等への整備、導入が見込まれます。各都道府県警察の主導で導入の効果や影響を調査・説明の上、地域住民等からの理解も得て導入が進められます。



歩車分離式信号:交差点で歩行者と車の青信号のタイミングを分ける信号です。

### ●ハンプ(凸部)の設置

ハンプは、車の速度を落とすことを目的に、生活道路等に設置されています。路面がなめらかに盛り上がり、30km/h以上の速度で走る車の運転者に不快感を与える構造になっています。



ハンプ(凸部):車の速度を落とすことを目的とし、道路上に設置されるものです。

### ●ゾーン30プラスの整備

ゾーン30プラスは、車の最高速度を30km/hに規制するゾーン30に、物理的デバイス(狭さく、クランク等)を組み合わせたもので、歩行者優先の安心・安全な空間を作り出しています。



ゾーン30プラス:ゾーン30に物理的デバイスを組み合わせて交通安全の向上を図るエリアをいいます。

## 3 道路利用者が交通環境を安全に保つために

身近なところから法令遵守(コンプライアンス)の意識を高める意味でも、車の運転者等の道路利用者が交通環境を安全に保つため、

① 死角を作るような路上駐車(駐車違反)はしない、② 通行の妨げとなる不法占有物は置かないなど歩行者を発見しやすくする環境作りに協力・貢献しましょう。

また、歩車分離式信号やハンプ、ゾーン30プラスといった道路インフラが整備されている場所について特に気を付けるだけでなく、

① 歩行者優先意識の徹底、② 交通ルールの遵守、③ 相手への思いやり・ゆずり合いの気持ちを持つなどの点を意識した安全運転を心がけましょう。

### 損害保険ジャパン株式会社

〒160-8338東京都新宿区西新宿1-26-1  
<公式ウェブサイト><https://www.sompo-japan.co.jp>

### SOMPOリスクマネジメント株式会社

〒160-0023東京都新宿区西新宿1-24-1  
<公式ウェブサイト><https://www.sompo-rc.co.jp>  
SOMPOグループの一員です。

お問い合わせ先